

しめい  
ID氏名  
ちよ  
シール貼  
うぶ  
布

「ガンマグロブリン療法を受けられる患者さんへ」

にゅういん たいいん けいかひょう  
入院から退院までの経過表

※この予定表は、おおよその目安です。患者さんの状態等により、予定が変更になる事も  
あります。尚、わからないことがありましたら、遠慮なくスタッフにご相談ください。

	治療当日 /	治療3病日 /	治療4病日 /	治療6病日 /	治療7病日 /	治療9病日 /
今日の目標	治療、回復状況の説明を受け、おおよその経過が分かる。 グロブリン治療の説明を受け、不安疑問を相談できる。 グロブリン治療後、1～2日後に熱が下がる。 解熱後、活気が出てくる。 口唇、口腔内の痛みが悪化していない。		食事が増えてくる。 熱が37.5度以下である。 口唇、口腔内の痛みが軽減している。		退院の計画が立ちます。 退院後の生活に付いて説明を受けます。 * 退院日は治療後一律に決まるものではありません。 熱の持続状況や、お子様の身体状況等で変動します。	
主な治療内容	 採血(肝臓の機能・熱の状況で回数は増減します、 胸のレントゲン(状態に応じ適宜実施) 心臓のエコー (状態に応じ毎日実施することもあります。)  検尿  点滴が継続して投与されます。 約20時間継続してグロブリンという薬が投与されます。 開始直後は頻りに3時間経過後は約5時間毎に、寝ている間も測定していきますのでご協力、ご理解をお願い致します 毎日、午前中に医師が病室に伺い診察します。		 体の状態で採血や心臓のエコーの検査が入り、 回復状態を診察していきます。   点滴が継続して投与されます。 食事がとれ状態が落ちつき、検査結果が良ければ点滴は終了します。		 採血  胸のレントゲン  心臓のエコー  検尿 が状態に応じて実施する場合があります。	
内服	  血管の炎症を抑え、血液が固まらないようにする薬が開始されます。正しく確実に飲ませていくことが大切です。  薬剤師より内服指導があります。		継続して内服していきます。途中、量に変更する場合があります。			
説明指導	  入院中の生活に付いて ベット横にある床頭台の引き出し内にある「入院のしおり」をもとに説明します。				退院後の生活に付いて医師 看護師から説明があります。 入院中ご心配なことはいつでも医師、看護師にお聞き下さい。	
トイレ	 制限はありません。					
安静	 ベッド内での安静となります。		身体の状況で少しずつ活動範囲が広がります。 そのつど 医師より説明があります。			
食事	 食べられるものを相談していきます。	   食べたり飲んだり痛みがならないようなら相談しながら進めていきます。				
入浴	 お体をスタッフが拭きます。					熱が無く、症状の回復状況で医師の診察にてシャワーや入浴ができるようになっていきます。

\* 入院中、お困りのことがあれば遠慮なく看護師にご相談ください。

お子様の付き添いをされる方へのお願い  
 ベット転落を防止するため、お子様から一瞬でも目を離される時は、ベット柵を一番上まで上げてください。  
 付き添いを交代される場合には、以下のことを必ず次の方にお伝えください。分からないときには看護師まで声をかけて下さい。  
 ・子供さんから目を離すときにはベット柵を一番上まで上げておくこと

小児科 クリティカルパス  
 (2005年10月承認 / 11月運用開始 / 2006年7月改訂 / 2012年2月改訂)